



自炊・二段組の本 でも読みやすく

tontokaimo39

はじめに

私の自炊は、携帯端末に入れて本を持ち歩くためでも、本の保存場所が無くなったわけでもありません。歳を重ねるにしたがって視力が衰え、文庫本などを読むのが苦しくなった、でも市販の電子本なら十分読める、それなら手持ちの本もみな電子化したら、これが自炊を始めた動機なのです。

と、言うわけでここでは携帯端末などは一切考慮していません、あくまでPCで、可能な限り文字を大きく表示して高齢者でも楽に読める電子本を作りたいということです。

あるQ&Aのページで、「本が読みづらい自炊して印刷したら大きな文字で読めるだろうか」と言う質問を見たことがあります、印刷までは大変だなと思いましたが、同じ悩みを抱えている方もいるのだなと言うことで、私のやっていることを書いてみる気になりました、大したことでは無いのですが、何かの参考にしていただければ幸いです。

初めに私の環境を

ハード

定番ですがSCANSNAPと裁断機

ソフト

SCANSNAP ORGANIZER・・・これはSCANSNAPに付いていた。

Ralpha・・・スキマ産業様

Chain Lp・・・No722様

S3Abmmng・・・シーサイドソフト様

いきなりPDF・・・これのみ有料ソフト

早速文庫本をスキャンしてみました。（文庫本だろうが、大型本だろうがスキャンすれば変わらないのですね）Chain Lpで見開き表示のPDFにしたのですが、あまり読みやすいとは言えない、PDFは拡大表示ができるのですが、スクロールして読むのでは到底読書の気分にはなれないし、余分なもののない全画面表示、できるなら見開きで読みたい、これが希望だったのですが。

そうか、余白をカットして拡大させたら...そこでRalphaを使って余白のカット、ところがChain Lpの見開き表示ではだめ、カットして小さくなった画像は拡大されずに小さいままで表示されるのです、単ページなら2ポイント程度は大きくなるのでしかたなく見開きをあきらめて単ページに、黒い画面に縦長の表示は嫌だったので背景を白に、これでなんとか読める電子本ができました。

S3Abmmngはおもしろいソフトで、ページをめくりながら読むことができるだけでなく、縦長の本、横長の本から豆本の様な小さい本などと自由に作ることができます、そこで上記の余白をカットした画像を使い、画面からはみ出すぎりぎりのところの大型本を作りました、これなら見開きでも拡大された電子本ができます。

（余白のカットはChain Lpでもできますが、Ralphaの方が簡単。S3Abmmngは現在機能が充実して有料になっているようですが、簡易版はフリーで使わせてもらえるとと思います。）

二段組

多段組となるといくらPCでも読みにくい、そこで各段を一ページにして読めないか、実はできるのです。

まずChain Lpだけを使う方法を紹介します。

ScansnapOrganizerでJpgにした画像を読み込ませ左のメニューを次のように設定します。

出力・・・PDF

回転・・・なし

綴じ方・・・右綴じ（漫画や小説など）

2個・・・なし

縦横比チェック・・・半分個、場合により単純余白除去

ページ補正・・・単純横優先

以上で出力すれば二段組の各段が一ページとして表示されるPDFができるのですが、これは問題があります。

○全ての本がうまく行くとは限らない、上や下の余白の状態、変なところで切れててしまうものがある。

○偶数ページと奇数ページで文字の大きさや余白が変わることがある。

○一ページ全体を使ったページ、扉、目次、挿絵、などの処理がめんどう。

まあきれいにできることもあるので一応書いておきました。だめなものも詳細設定によってうまく行くかもわかりませんが、本ごとの試行錯誤になると思います。

二段組2

ここからが本題ですので、できる限り詳細に書いておきます。

- ScansnapOrganizerで変換したjpgをフォルダに入れて用意します。
- Ralpaを起動し、用意したフォルダを読み込ませます。（ドラッグ、ドロップでいい）
- 読み込んだファイルの一覧が表示されますから、適当なものを選んで左クリックで反転させ
- 右側に表示されているメニューのうち「トリミング」にチェックを入れ、その右の歯車マークをクリック
- 選んだファイルの実際の画面と四角形が表示されます、この四角形は拡大、縮小、移動ができますからこれで二段組のうち上段を囲みます、文字ぴったりでなく余裕を持たせて、四角形の左右の辺は画面両端ぴったりでいいと思います、下辺は上段と下段のさかいめ中央より下段に近い位置に（スキャンした画像はすべて同じ位置とは限らず、ずれていると文字が切れることがあるのです）上辺は下段に合わせて適当に、文字と上辺または下辺との間が上下の余白になるわけです。
- 「OK」をクリックすると一覧表示の元の画面に戻りますから、今度は上部のメニューから「変換」「実行」と進みます。
- 変換が終わると再び先に選んだファイルを反転させ、「トリミング」にはすでにチェックが入っていますから歯車マークをクリック
- 先ほどの四角形を下に移動させ、下段を囲みます、四角形の上辺を今度は上段に近い位置に。
- 「OK」「変換」「実行」と同じことを繰り返します。
- 用意したフォルダの中にresizeと言う新しいフォルダができているはずです（Ralpaの設定を変更していると別のところに行ってしまいますが、その場合は上部メニューの「設定」「出力設定」で「元画像と同じフォルダに出力」にチェックを入れてください）
- このresizeの中に元のファイル、扉、目次、挿絵など段組になっていないものを入れます、上書きになるはずですが。
- resizeを開いて上書きの後ろに残っている下半分を消去します、空白のファイルがあればこれも消してください。
- Chain Lpにresizeを読み込ませ、「2個」のメニューを「なし」にしてPDFを出力すれば完成です。

こうして書くとめんどうなようですが、実際は簡単、めんどうなのはいらぬ下半分や空白の消去だけですが、これらの数は少ないし、邪魔になってもいいなら消さなくてもいいですし。

三段組その他

三段組は二段組と同様、ただ上段、中断、下段の順に三回繰り返すだけです。横長の、背景を白にすると上下の余白を取りすぎという感じの画面になりますが、文字は大きく読みやすくなります。

三段組と言えば雑誌と言うことになり、雑誌の割り付けは複雑で単純なものはずありません。私の読んでいるものはミステリー誌のみなのですが...

ミステリーズ（創元社）

絵の入ったタイトルが一ページ、あとは三段組が多いのですが、タイトルの次ページのみ二段、次は三段と言うものもあります。私は、タイトルのPDF、三段を直したPDF、後者の場合は、タイトル、二段のところ、三段のところと複数のPDFを作って置いて結合します、めんどうなようですがそれほどでもありません。

ミステリマガジン（早川書房）

小説は二段が多いのですが、妙なところに広告が入っていて邪魔をします。気になる時はjpgの段階で消去しますがたいていはそのまま。

タイトルのページ（書籍の場合はカバー）は表紙として使うPDFとして別個に作り、いつも本文のPDFと結語します、ここで使うソフトが「いきなりPDF」こうして置くと最初から全画面表示で起動でき、途中で読むのをやめてもそのページから起動できるようになるからです。（ソフトの設定が必要ですが）

雑誌は小説ごと、書籍でもアンソロジーや短編集は一話ごとのPDFにして置きます、ここで扱っているPDFはあくまで画像PDFで、市販の電子本のように目次から目的のページに飛んだり、検索したりと言うことができないために、こうして置く方が便利なのです。

雑誌でなくても、一ページの上もしくは下7割が絵で文字は3割とか、二ページにわたった挿絵など困った割り付けもよくあります、これをどうするかは気分次第、そのまま残したり消してしまったり...

Ralpha、Cain Lpは自炊に欠くことのできない素晴らしいソフトです、Ralphaで二段組を読みやすくできることを見つけて以来、もっと新書版のノベルスを買っておけばよかったと後悔、最初は多段組など自炊してもだめだと思って文庫ばかり買っていたのです。蛇足ですがこのソフトの素晴らしさの一例を。

通販の古書店で「江戸川乱歩訳 妖犬（バスカビル家の犬）」と言うのを見つけました、へえー乱歩もホームズを訳してたのかと早速購入、ところが届いた本は真っ赤に焼けてボロボロ、綴じもぐさぐさで開いただけで壊れそう、そこで自炊に回しました。

グレーモードのスキャンでは真っ黒け、カラーモードでは真黄々で何が書いてあるのかわからない。そこでRalphaで背景をできる限り白に、当然文字は薄くなってしまうので、今度はChain Lpのガンマ補正でできる限り濃く、結果は読むのに差し支えないPDFができあがりしました。

こう言った方法は、国会図書館の近代ライブラリーを読むのに役立ちます、おかげで明治や大正のホームズを私のホームズコレクションの中にも30冊あまりを加えることができました。

Ralphaは本来画像処理ソフトで、まだまだいろいろな機能を持っています。
(乱歩の翻訳、本当は乱歩の知人が訳したものだそうですね)

あとがき

つまらないことを公開しましたが、何かの参考に...

自炊で本を破壊することに反対する人がいることは知っています、代行に抗議した作家も何人かいました、私自身も最初の裁断にはかなり躊躇しました、しかし読めない本を持っていても仕方がないじゃないかと...

けっして、流行だから、おもしろいからと、遊びのために行っているわけではないのです、読めなくなったから仕方なく、これが私の自炊です、同様な高齢者の方だけでなく、視力に支障のある方にも役立つのではないかと思って公開したのです。自炊代行に反対した作家の方々には、自分たちの目先を見るのだけではなくて、もっと広い視野を持ってもらいたいものです。

実際の図を入れるとよかったのですが、手抜きです。

素晴らしいソフトを提供してくださっている方々に感謝致します。

自炊・二段組の本でも読みやすく

<http://p.booklog.jp/book/117727>

著者 : tontokaimo39

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/tontokaimo39/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/117727>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト